

平成 23 年度 すぎなみ大人塾（昼）コース

第 18 回：「これから、みなさんはどんな活動をしたい？」

学習支援者：松田道雄 東北芸術工科大学教授・着想家

補助者：谷原博子 フリーアナウンサー・地域コーディネーター

平成 24 年 2 月 27 日（月） 10:00～12:00

会場：セシオン杉並 於：第 9.10 集会室

1 松田道雄先生

今日は、山形県から、だがしや楽校の生徒さんがきてくださいました。「わけしゅ」というサークル活動をしていて、今日は手芸の作品を持ってきてくれました。「わけしゅ」というのは、山形の方言で、若い衆という意味です。若い人が中心となって、地元を盛り上げていこうと活躍していますよ。今日の手芸作品は、畳の生地をリサイクルしたものです。後ろに展示してあるので、ぜひ見てください。

もう 1 人は、お米を作っているらしいです。リンゴを田んぼに撒いて、お米を作っているのもとても甘くなります。お米の名前も「あまい」です。お米作りだけではなく、イベントを開いたりして、お米と地元を盛り上げています。パンフレットを持ってきているので、ぜひご覧になってください。こうして出会えたのも何かの縁ですし、彼らと話してください。みなさんの知っていることなども「おすそわけ」して、交流をすすめてくださいね。



さて、みなさんも彼らも進めているのはコミュニティづくりです。コミュニティづくりというと、なにか難しい気がしますが、簡単にいうと「他者との助け合い」「お互い様の精神のつながり」を作ることです。そう考えると、みなさんが今までやってきたことと合うので、わかりやすいのではないのでしょうか。

ところが、このコミュニティづくりはすごく難しいのが現状です。現在の世界では、お互い様の精神とか助け合いの機会がすごく難しいのです。お金のあななしでサービスをもらえたり、何かをしてもらったらお金を払ったりと、お金が中心となっているからです。もちろん、お金も大切ですが、これだけではコミュニティは作れないと思っています。

先日、テレビを見ていたら、こんなことを言ってました。海外の実験によると、お金が儲かるとわかると、人間の脳は活性化するそうです。自分にメリットがあると理解すると、脳が活発に動くのです。ところが、ここからが面白いのです。

誰かを助けたり、誰かと繋がりを作ろうと思うと、脳はもっと活性化するそうです。お金儲けより、つながりづくりの方が脳は活発に働くということです。

実は、この傾向は4000年前の原始時代から残っているそうです。人間は、独りでは生きていけないので、誰かとつながることをすごく大事にしているのでしょう。原始時代からの記憶が、脳にはちゃんと残っています。つながり作りは、人間の根源かもしれません。つながりづくりが、どんどん広がっていくとコミュニティづくりになるのでしょうか。

でも、杉並区内、となり近所でいきなり付き合うのは難しいかもしれません。だから、ちょっとずつ自分の出来ることから、自分の近い範囲から進めていくと良いのです。ムリをしないで、わかちあいの精神と自分見せをしていきます。そうすると、お互いの理解が進みますし、どんどん循環していきます。わかちあいが広がっていきます。みなさんも授業を通して、感じたのではないのでしょうか。今日で、授業は終わりですが、今日のこの時間内でも、わかちあいをすすめてください。学びあいは楽しいし、学びをわかちあえるのは嬉しいです。授業が終わった後も、続けてください。

そして、それぞれのコミュニティでも活躍してください。損得を超えた人の付き合いを感じ、実践していくことで、次の世代にも繋がりやすさが伝わります。みなさんの活動や、つながりの楽しさが次の世代に伝わると、若者たちもきっと前に歩めるはず。お互いの学び、生き方、表現を交換し合うと、豊かな社会になります。みなさん、いままでありがとうございました。

2 今日最後ですので、みなさんの感想を聞かせてください。

1) 井上さん

学び合いが出来たのが本当に良かったです。モノを作ることから、多くを学びました。困難を乗り越えて作ったのは、とても思い出に残っています。夜コースのワークショップも良かったです。演劇的な方法で、理解を深めるのは今までにやったことがなかったです。自分が面白かったことを伝えるのは出来ませんが、他人が面白かったことを伝えるのは、他人を理解する新たな方法と気づき、大いに刺激になりました。学んだことを活かしながら、自分の学びを伝えたいと思います。松田先生の思いやり、おもてなしの精神を学ばせて頂いたのも学びのひとつです。ありがとうございました。

2) 小澤さん

半分位しか出席できませんでしたが、学びの機会にいろいろなパターンがあって良かったです。もう少し、時間をかけてもらったら、もっと良かったです。学びを掘り下げるという意味です。コミュニケーションをしていると、ともすれば世間話になってしまったり、議論自体が拡散してしまう危険があります。気持ちを伝えるだけで終わるのは勿体無いので、系統だてたり、学びのテーマからぶれないような工夫が大事だと思いました。

3) 山根さん

この1年間、他人から学ぶことを学ばせていただきました。人生の先輩から学んだり、イキイキした姿を拝見していると、人生のロールモデルになると思います。5歳と1歳の子どもがいる生活人として、自分の数年後の目標となりますし、人生の豊かさについても考えるキッカケとなりました。自分が豊かになるのも大事ですが、誰かに豊かさを与えられるかどうか。

正直、今の段階では与えられるかわかりませんが、何年後かにはできるようになりそうです。そんな勇気を貰いました。とても感謝しています。何ができるのか、何が自分に必要なのかと焦った時期もありました、でも学びをすすめていく中で、自分らしく自分の学びを伝えていこうと自由になれた気がします。ありがとうございました。

4) 西崎さん

皆勤賞です。課外授業にも出ましたし、いろいろなモノづくりを体験いたしました。モノづくりは童心に返ったようで、気が付けば夢中になっていました。この年になると、男性ですし、モノを作るなんてしません。しかし、普段やらないことをやってみるのは大変刺激になります。モノづくりを通して、人間関係や社会教育を考えるキッカケとなりました。感謝しています。

6) 宮崎さん

みなさんといろいろな場所に行けましたし、話せたのがとても楽しかったです。この出会いは、私にとって大きな財産です。ありがとうございました。

7) 石塚さん

七夕、阿波踊り、手作りのものをお裾分けと、みなさまと学びあいをさせていただきました。その中で、お雛様を折り紙で作ってみました。とても喜んでいただいて、とても嬉しいです。折り紙ですので、今度は男性の方にも参加しやすいもの考えたところ、たまたま観戦したアメフトでアイデアが浮かびました。会場に捨てられていたダンボール製の応援グッズの再利用を考えたのです。モノを作り始めると、いろいろと発展していきます。再利用や人に伝える工夫など、どんどん広がるのを体感しました。

8) 池ヶ谷さん

大人塾となっていますが、私の80%は子どもですので、オトナってなんだろうと興味を持ったのが入学のキッカケです。先生がおっしゃっていた「小さなものでも、おすそわけ」でハッとしました。福島の子もたちとの触れ合いの中で、身体を動かすことの良さを実感しました。

私に出来ることが、子どもたちとの繋がり作りに役立ったのです。行動しながら、どんどん新しいことに気づきました。学びを吸収していだけで、1年はすぎた感じです。私の自慢は、餅つきで活躍できたことです。山形を訪れた時には、人間の良さを感じました。そのことを先生にお伝えしたら、「杉並の方も、良い人ばかりです」とお答えして頂き、嬉しく思いました。みなさま、ありがとうございました。

9) 海老沼さん

3年、通いました。ハンズインカフェということで、モノづくりを通しての学びがあったのは本当に良かったです。学んだこと、感じたことを子ども達にも、還元していきたいと思います。山形に行ったときも、人の触れ合い、おすそわけを感じました。毎回、学びを全身で感じていました。この学びを大切にしたいと思っています。ありがとうございました。

10) 大塚さん

継続はチカラなりと言いますが、続けることの大切さを改めて実感しました。年齢を重ねて、自分が理解してきたこと、理解していなかったこと、理解すると楽しいことなどを学ばせていただきました。みなさんと触れ合いできて、元気になれた気持ちです。ありがとうございました。

11) 高橋さん

今期が初めての参加です。仕事をやめたあと、どうしようかと思っていました。何かしなきゃと焦っていました。そこで、まずは杉並区の中で何かをしようと入学してみました。張りぼて制作をしていると、ものづくりの楽しさを感じました。作るだけではなく、人との関係性を作ることも理解したからです。1人では出来ませんが、みんなだと何かできる。物が出来たときの感動は、みんなでわかちあえる。他人との関係性を改めて感じさせていただきました。何ができるかわかりませんが、1歩ずつ自分にできる何かをしていきたいと思っています。

12) 小林さん

子どもを預けたかったので、参加しました。子育てにおわれているので、地域づくりなど考えたこともなかったです。それに、自分から発信できることなど何もないと萎縮していました。でも、張りぼて作りで肌から、みなさんのイキキを感じ、楽しんでいらっしゃるのを直に感じると、すごく刺激になりました。学びの楽しさを実感したのです。人とモノができあがる瞬間にたちあえて、コミュニティ作りはこういうことかと納得しました。お世話になりました、ありがとうございました。

13) 清水さん

好奇心のまま、どんなことをやるのか知りたくて応募いたしました。口をうごかし、手を動かし、モノを作ることが出来る人と知り合えて、同じ時間をすごせたのは本当に楽しかったです。学んでいると、自分にも伝えられることがあったと気づき、自信になりました。お互いの学びや喜びが溢れていき、みなさん1人1人が輝くような日々でした。

14) 広瀬さん

私も好奇心から参加しました。皆勤したのですが、まだまだわからないことだらけです。でも、わからないことは良いことだと思っています。今までの自分の世界とは違うことを知った証拠ですし、まだまだ学べる可能性があるという証拠でもあります。宿題でも、違う世界を教えてくれます。私は、いままでの仕事の経験からシステムチックに課題に取り組みました。でも、本来の宿題は自由でフレキシブル。自分の思うとおりに仕上げるのが正解なのです。クリエイティブな世界を感じ、1歩踏み込んだとおもっています。人との交流で、新しい世界、新しいものが生まれるのだなと感じました。

15) 小貫さん

共同作業の楽しさ、みなさんのアイデア、想像力の豊かさに感動しました。分けっこの精神を活かしながら、これからの人生を豊かにしていきたいと思えます。みなさま、先生、ありがとうございました。

16) 愛宕さん

まだまだわからないことがあって、これで終わるのが惜しい気持ちです。今年は今までのための布石と考え、来年をもう少し活発にしようと思います。人の出会い、一緒に行動し、学びあうと、多くのことを学びました。私も伝えられることを学びました。また、いままで杉並を知りませんでした。はじめて本当の杉並区を知れたと思います。私もようやく杉並の住人になれたんだと自信を持っていえるようになりました。

17) 松原さん

だがしや楽校の名前に惹かれて、入学しました。杉並を知るために、毎日歩いて通い、今まで気づかなかったことに出会いました。仲間作りもできたのも本当に良かったです。ハンズインカフェという学びも、本当に素晴らしいです。人間関係作りとものづくりを一度にできるのですから。ものづくり、時間と気持ちを共有できたのは本当に良かったです。ありがとうございました。

12) 松田道雄先生

みなさん、ありがとうございました。
多くの学び、気づき、出会いがあったようですね。こちらの地図も、同じですね。みなさん1人1人の人生観や生き様、気づき方などがわかります。イベントだけをやるのではなくて、手や口を活かしながら生き様を知っていく。お互いの理解の促進です。画一的な学校教育では、なかなかこのような機会がありません。多様な学び、多様な学びの方法を感じられたと思います。



さて、さきほど紹介しました山形の青年達ですが、1人は畳のへりを使った手芸を持ってきてくれましたし、もう1人はお米を紹介してくれます。彼らは若者です。誰かの応援がなければ、前に進めません。誰かの応援やお手伝いがあると、もっと進みやすくなります。進むというのは、彼らの活動だけではなくて、コミュニティでもあります。みなさん、人生の先輩として、彼らの良さをひきだし、学びをひきだしてください。自分ができるお手伝いなども、ぜひ提案してみてください。お互いを見せ合うことで、つながりは深く、広がっていきますよ。



みなさんの学びを広げてくれた若者もいらっしゃいますよね。川上さんです。今期で終わられて大学院に戻るそうです。彼からも感想を頂きましょう。

3 だがしや楽校事業担当の川上さん

1) 3年やってきて、「だがしや楽校って何なのか」が自分なりに答えがでたと思います。人は仕事や家庭などで、社会や他人から何か役割を求められています。何かの役割や肩書きに関係することを求められて、それをこなして生活しています。だがしや学校というのは、そういった社会の肩書きや押し付けられた役割から離れて、個人として動けるキッカケとなる場所だと思います。肩書きではなくて、1人の人間として生きられるということです。1人の人間として、自分ができることをやっていく。歴史的に見ても、個人の周りの小さなことから、世界が変わる方が多いそうです。1人のリーダーがみんなを巻き込むのではなくて、人と人のつながりから世界が変わったケースが多いのです。「自分が楽しかったことを伝えたい」そんな気持ちから始まるのだと思います。大それたことを始めるよりも、一緒に何かを作ることの方が、世界を変えることになるのです。みなさんは、その最先端にいます。学校がおわったあとも、ぜひ繋がりを感じ、活かして、これからの人生をすごしてください。みなさま、お世話になりました。ありがとうございました。

2) 松田道雄先生より

川上さん、ありがとうございました。

おすそわけや自分みせで、どんどん人間関係は深まりますし、つながりも広がります。すこしだけ、経済の視点も覚えておいてください。何か紹介し、何かをおすすめすると、お互いに良いことがおきます。関係が作れますし、知らない情報を知れますからね。お互い様という信頼関係です。これは、契約じゃなくって、緩やかな関係です。何かをお勧めするといっても、商売や営業ではありません。自分が知っている情報、知っていることを伝えている「自分みせ」なのです。普段から、自分が知っている情報を伝えたり、おすそわけをしていますが、自分達のような大人が何かしないかと、若い人は前に進めません。若者だけでは、開拓できないのです。今日は山形から持ってきてくださいました。物々交換、情報交換など、つながりができたら有難いです。直接、購入されなくても、誰かに伝えていただけるとも助かります。こういうことが、お互いの生活のプラスになります。それでは、お茶もお菓子もありますので、お互いに交流しながら、最終発表の打ち合わせを行ってください。

ありがとうございました。